



**参加募集**



**The 7th International Conference on Mobile Data Management (MDM'06)**

2006年5月9日~13日、奈良県新公会堂(奈良)

共催

IEEE Technical Committee on Data Engineering (TCDE)  
情報処理学会 (IPSJ)、電子情報通信学会 (IEICE)、日本データベース学会 (DBSJ)  
協賛 ACM SIGMOBILE and ACM SIGMOD

<http://www.mdm2006.kddilabs.jp/>



**MDM2006 ハイライト**

- ・ センサーネットワークにおける self-stabilization 研究の第一人者であるオハイオ州立大学 **Anish Arora** 教授による、米国 DARPA ExScal プロジェクトに関する基調講演。
- ・ 検索およびテキスト・マイニング分野で著しい成果を上げられ、昨年 7 月に **Yahoo! Research** のトップに就任された **Prabhakar Raghavan** 氏の基調講演。
- ・ **TinyOS** の開発で中心メンバーとして携わった経験を持つ **Philip Alexander Levis** 氏による招待セミナー。
- ・ 117 件の投稿の中から厳選された **39 件の研究発表** (12 件のショートペーパーを含む)。
- ・ 内外の大学、企業、研究機関から **19 件のデモンストレーション** 展示。
- ・ モバイルコンピューティングやユビキタスコンピューティングの最新トピックに関わる **5 つの併設ワークショップ** (本会議に併設する形で開催いたします)。

**国際会議 MDM2006 とは**

Mobile Data Management (MDM)は、mobile computing、wearable computing、pervasive computing を発展させるデータ管理およびアクセス技術に関わるテーマを議題とする国際会議です。今回、この国際会議が 2006 年 5 月に奈良で開催されます。

MDM は、IEEE Computer Society が主催する国際会議で、今回で 7 回を数えます。MDM では、モバイル環境におけるデータベースやデータ工学に関する非常に高いレベルの最新の技術発表が行われるとともに、著名な研究者や先進的な取り組みをしている企業等からの基調講演、各分野のエキスパートを招いたセミナー、企業や大学によるデモンストレーション、先端研究分野を取り上げてテーマとするワークショップなど、多彩なイベントが含まれています。2000 年の第 1 回会議の開催以来、MDM は毎年 1 回世界の各地で開催され、2004 年には米国、2005 年にはキプロスで開催されました。日本での MDM は初めてとなります。

MDM2006 では、データベース・データ工学、分散処理、モバイル通信・アプリケーション、ユビキタスコンピューティング等の研究コミュニティの人材が一同に集結し会議の運営を行っています。これらの研究領域に関する研究者・技術者の皆様の参加をお待ちしております。

詳細は、<http://www.mdm2006.kddilabs.jp/>を参照して下さい。

**基調講演**

- 5/10 **Anish Arora** is a Professor of Computer Science and Engineering at The Ohio State University.  
"ExScal: A perspective on Large Scale Wireless Sensor Networks."
- 5/11 **Prabhakar Raghavan** is the Head of Yahoo! Research and a Consulting Professor of Computer Science at Stanford University.  
"The Changing Face of Web Search."
- 5/12 **Toru Hayashi** is the Senior Director of Advanced Solution Department at Oracle Corporation Japan.  
"The convergence of Mobile and Enterprise software."



**セミナー**

**招待セミナー (5/10, 5/11)**

**Philip Alexander Levis** (Stanford University):  
"TinyOS: An Open Operating System for Wireless Sensor Networks."



**セミナー 1 (5/10)**

Jianliang Xu, Baihua Zheng and Wang-Chien Lee:  
"Data Access Techniques for Location-Based Services."

**セミナー 2 (5/11)**

Vladimir I. Zadorozhny and Panos K. Chrysanthis:  
"Network-Aware Wireless Sensor Data Management."

**ワークショップ**

- 5/9 -International Workshop on Managing Context Information and Semantics in Mobile Environments (MCISME).  
-International Workshop on Mobile Services and Ontologies (MoSO)  
-International Workshop on Future Mobile and Ubiquitous Information Technologies (FMUIT)
- 5/13 -International Workshop on Mobile Location-Aware Sensor Networks (MLASN)  
-International Workshop on Tools and Applications for Mobile Contents (TAMC)

**参加登録について**

- ・ 登録料 (4月10日まで/4月11日以降)
 

会員	50,000 円/60,000 円
非会員	65,000 円/78,000 円
学生 (会員)	25,000 円/28,000 円
学生 (非会員)	31,000 円/37,000 円

会員価格は、IEEE/IEEE CS、ACM、情報処理学会、電子情報通信学会、日本データベース学会のいずれかの会員に適用されます。

## MDM2006 会議運営委員

### General Co-Chairs:

Kien A. Hua (U. of Central Florida, USA)  
喜連川 優 (東京大学)

### Program Co-Chairs:

Karl Aberer (EPFL, Switzerland)  
原 隆浩 (大阪大学)  
Anupam Joshi  
(U. of Maryland, Baltimore County, USA)

### Organizing Committee Chair:

植村 俊亮 (奈良先端大)

### Industrial Committee Co-Chairs:

Sanjay Madria (U. of Missouri-Rolla, USA)  
高橋 克己 (NTT)  
Henry Tirri (Nokia Research Center, Finland)

### Workshop Committee:

戸辺 義人\* (東京電機大学)  
岩井 将行 (慶應大学)

### Seminars Co-Chairs:

Ugur Cetintemel (Brown U., USA)  
石川 佳治 (名古屋大学)

### Panel Chair:

Vijay Kumar (U of Missouri-Kansas City, USA)

### Demonstration Co-Chairs:

木俣 豊 (情報通信研究機構)  
Xing Xie (MSRA, China)

### Publicity Chair:

太田 慎司 (KDDI 研究所)

### Publication Chair:

上岡 英史 (国立情報学研究所)

### Registration Chair:

安本 慶一 (奈良先端大)

### Finance Chair:p

石原 進 (静岡大学)

### Local Organizing Committee:

寺田 努\* (大阪大学)  
宮崎 純\* (奈良先端大)  
神崎 映光 (大阪大学)  
灘本 明代 (情報通信研究機構)  
中島 伸介 (奈良先端大)

### Award Committee Chair:

西尾 章治郎 (大阪大学)

\*chairperson

## スポンサー



日本オラクル株式会社



株式会社 日立製作所



独立行政法人  
情報通信研究機構



株式会社 KDDI 研究所



オムロン株式会社



日本電気株式会社



ヤフー株式会社



グーグル株式会社



日本電信電話株式会社



三菱電機株式会社



IBM Research



日本ヒューレット・パッカード  
株式会社



富士通株式会社

## 助成財団

財団法人 電気通信普及財団  
独立行政法人 日本万国博覧会記念機構  
財団法人 国際コミュニケーション基金  
財団法人 テレコム先端技術研究支援センター  
財団法人 奈良コンベンションビューロー